

「山都町の小・中学校の環境整備の改善」について



蘇陽中学校
2年 田上 翔太 議員

問 通潤橋を訪れる観光客にガイドを行う中学生ボランティアスタッフの配置を提案します。小・中学校で学習したことを観光客の方たちにも伝え、多くの人に山都町の文化や歴史に触れていただき、私たちも地域の宝をより深く見つめ直すことで将来に役立つと思います。さらに、山都町を訪れる外国人観光客に対しても英語で案内するボランティアガイドを行うことで、外国の方と英語で話す機会を持ち、国際理解と交流につながり、より多くの外国の方々が山都町に来てくださると思います。

答 生涯学習課長

通潤橋案内ボランティアは小学校の社会科見学を中心に、通潤橋や通潤橋資料館などを案内・説明されています。小学校の社会科見学は平日に行われますので中学生ボランティアによる対応は難しいですが、土日や夏休み期間での一般の方への案内を担っていただくことは可能ではないかと考えます。また、外国人観光客への英語による案内も、ぜひお願いしたいと思います。通潤橋案内ボランティアの研修会の中で本日のご提案を紹介して、具現化できるように協議していきたいと思います。

「通潤橋から川沿いの道を走れるレンタサイクルと自転車専用道路の整備」について



矢部中学校
2年 増田 怜奈 議員 (右)
2年 平野 新造 議員 (左)

問 山都町の未来を担っていく小・中学生に「山都町で学んでよかった。」「山都町の小・中学校で育ったから今がある。」という思い出があれば、必ず地元へ貢献しようと帰って来ると思います。そのために、学校の環境設備を充実させることを提案します。特に、近年暑さが厳しくなり、山都町であっても夏場は暑さのため授業に集中できないこともあるため、教室のクーラー設置を要望いたします。また、冬場は日暮れが早く下校時刻には校区が真っ暗になります。安全面や防犯効果にもつながるため、街灯の設置の検討をお願いしたいと思います。

答 学校教育課長

クーラーの設置については、温度測定状況等や各種事業の優先順位を勘案しながら、総合的に判断していきたいと思います。通学路の危険箇所等については、各学校からの情報を基に山都町通学路安全推進会議が把握・整理に努め、緊急性を勘案しながら整備を進めています。すべての箇所をすぐに整備することは困難ですが、ご指摘の箇所の街灯の設置についても、学校と連携しながら検討していきたいと思います。

「通潤橋案内ボランティア」について



矢部中学校
2年 松本 大蔵 議員 (右)
2年 藤川 桜輔 議員 (左)

問 「観光客向けのレンタサイクル」を道の駅通潤橋に設けてはどうでしょうか。自転車専用道路を整備することで、山都町の素晴らしい風景や特産品に触れ楽しんでもらえると思います。また、走った距離に応じてポイントを付け、飲食店や物産館で利用できるようにすることで、より広範囲に観光客が行き来し、飲食や買い物をする機会も増えると考えます。さらに自転車は、環境に優しく狭い道でも往来がしやすいため、観光客だけでなく町に住む人々の自転車利用も促進できるはずです。

答 山の都創造課長

昨年策定しましたグランドデザインの中にもレンタサイクルについて記載しております。自転車で山都町の豊かな自然と景観を満喫していただくことは、滞在時間の延長にもなりますし、是非取り組んでいきたいと思っています。道路整備については『自転車ネットワーク計画』を策定中で、自転車通行空間、走りやすい自転車専用レーンを整備する事業に取り組む予定です。走った分のポイントを利用できる取り組みは、大変おもしろいと思いますので是非参考にさせていただきたいと思います。

「そよ風パークの活性化」について



蘇陽中学校
2年 興梠 優哉 議員 (右)
1年 春木 達裕 議員 (左)

問 馬見原商店街は、美味しい食べ物や歴史ある火伏地藏祭りなどで賑わいを見せる魅力的な商店街です。しかし、「馬見原でご飯を食べたい」と言っている観光客に食事ができる場所を紹介できずに悔しい思いをしました。そこで、町民で運営出来る古民家カフェの設置を提案します。商店街の空き家を利用すれば商店街の活性化につながると考えます。馬見原買い物支援協議会などの協力を得て、地域住民がカフェを運営するシステムを構築することができれば、地域コミュニティの再生にもつながるはずです。県内外から何度も来てもらえる商店街の先駆けとなる取り組みをお願いいたします。

答 山の都創造課長

「ご飯を食べる場所がないので古民家カフェの設置を」という提案について、昼食場所があれば人が集まり、滞留時間も長くなりますし、地域のよりどころとして地域コミュニティを深める場所にもなることも予想されます。ご提案があった内容は、地域住民の合意と住民主体となった取り組みが必要ですので、関係機関にお伝えをして話し合いの場を持ちたいと思います。

「山都地区を盛り上げる他校との交流行事の開催」について



蘇陽中学校
1年 春木 智裕 議員

問 山都町の観光業の活性化に向けたそよ風パークの有効利用のため、木製遊具の改修工事と週末の温泉施設の利用を提案します。そうすることで観光客だけでなく、私たち地元の人も利用しやすいものとなるはずです。2つ目の提案は、そよ風パーク周辺をコースにしたファミリー向けのジョギング大会の開催です。夏の涼しい環境を利用し、ブルーベリーなどの地元の食材を食べながら気軽に参加できるジョギング大会を企画してもらいたいと思います。

答 山の都創造課長

破損して利用できない危険な遊具については撤去する予定です。老朽化した遊具については再整備を行う必要があると考えています。大浴場については燃料費の高騰からシーズンを限定して営業しているところです。週末利用については、施設の管理者と協議をしていきたいと思います。

ファミリー向けジョギング大会の開催については、運営主体やコースの設定、警察署との協議も必要となりますので、関係者との協議を進めていきたいと思います。

「また来たくなる馬見原商店街」について



蘇陽中学校
2年 大久保 咲希 議員

問 生徒数の減少に伴い、山都地域の小・中学校は1クラスの学年がほとんどです。また他校の同学年と交流する機会も少なく、競争する場面はほとんどありません。そこで、町内の小・中学生がスポーツで交流するイベントの企画を提案いたします。私がイメージしているのは、『山都町民スポーツ大会』です。学校対抗や地区対抗などで同学年や他学年との交流が深まれば、その後の山都町を支える絆が生まれると思います。また小学校の部活動がなくなり、運動する機会が少なくなっている課題の解決にも繋がるのではないかと考えてます。

答 学校教育課長

町内で小・中学生が参加するスポーツイベントは、各地域の選抜ではありますが、町民スポーツ大会や支部体協対抗駅伝大会などがあります。多くの小・中学生が参加できる新たなスポーツイベントについては、日程調整等の課題がありますが、今後、各校の校長先生と話し合い、実施できないか考えていきたいと思います。なお、日向往還歴史ウォークや、文化面では茶道教室、童話発表大会などが実施されていますので、積極的にご参加のうえ交流に活かさせていただきますよう、ご案内申し上げます。